SONY

4-662-642-**01**(1)

はじめにお読みください

パーソナルエンタテインメントオーガナイザー

PEG-NR70V/J
PEG-NR70/J

- CLIE、VAIO、“ Memory Stick ”(“ メモリースティック ”)、MEMORY STICK™、“ Magic Gate ”(“ マジックゲート ”)、MAGICGATE、“ Magic Gate Memory Stick ”(“ マジックゲートメモリースティック ”)、MG、PictureGearはソニー株式会社の商標です。
- Palm OS、Graffiti、HotSyncは、Palm, Inc.またはその子会社の登録商標であり、Palm Desktop、HotSyncのロゴ、Palm Poweredのロゴは、Palm, Inc.またはその子会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MMXおよびPentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Xiino（ジーノ）、Ilinx（イリンクス）は株式会社イリンクスの登録商標です。
- generic mediaおよびgMovieは、generic media,incの商標です。
- ATOK「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機で使用している一部のフォントの著作権は、株式会社タイプバンクに帰属します。
- Adobe® およびAcrobat® はAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- Documents To Goは、米国およびその他の国におけるDataViz, Inc.の商標、もしくは登録商標です。
- Intellisyncは米国Pumatech, Inc.の米国、およびその他の国における商標、もしくは登録商標です。
- PrimoSDK for CD
  Partial software replication technology by VERITAS Software Corporation.
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license.
  QuickTime is registered in the U.S. and other countries.
- The software library incorporated in CLIE handheld is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

サンプル映像&音楽　cocoro～.prc
（DVD Hawaiian Breeze - KOHALA Collection（CCBN-27013）より）
Music: Mango Cooler（Composed by Charles Michael Brotman. Performed by KOHALA）

http://www.cocoronet.com/

本機をお使いになる前に、必ず取扱説明書の「安全のために」とお買い上げのCLIEに添付の使用許諾契約書をお読みください。

ご注意

- Palm OS上で動作する他社製のアプリケーションおよびハードウェアについては、当社はサポートしておりません。
- 付属のソフトウェアは、この説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
- この説明書は、お客さまがWindowsの基本操作に習熟していることを前提にしています。
  パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

目次

取扱説明書について

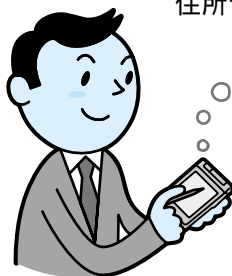
本機に付属している取扱説明書はすべて、PEG-NR70V/JおよびPEG-NR70/Jの2機種について説明しています。

- 本体のイラストは、特に断りがない限り、PEG-NR70V/Jを使用しています。
- PEG-NR70V/JとPEG-NR70/Jとで異なる点については、各説明箇所で明記しています。

CLIEでできること

CLIEは個人情報を気軽に管理するだけでなく、音楽や画像の再生なども楽しめる、パーソナルエンターテインメントオーガナイザーです。使いこなすことにより、どんどん用途が広がります。

電子手帳としてCLIEを使う

●住所や予定表など管理する

●パソコンの予定表や住所録を持ち出す

パソコンと一緒

例えば、パソコ
CLIEで持ち出せ

インターネットに接続して CLIEの世界を広げる

●外出先で電子メールやさまざまなホームページを楽しむ

に使ってCLIEを使いこなす

ンで管理している音楽や画像を
ます。

●CLIEのホームページを利用する

●画像を撮影したり*、編集したり、
持ち歩いたり、メールに添付したりする

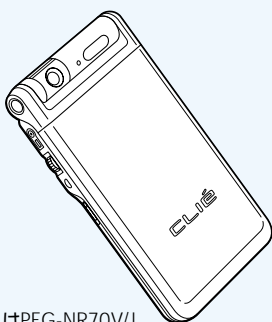
* 内蔵カメラ付きのPEG-NR70V/Jのみ

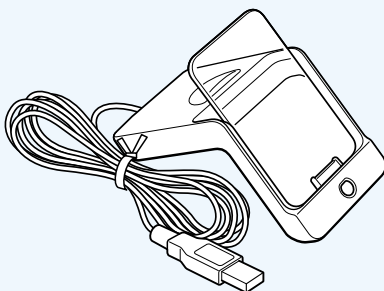
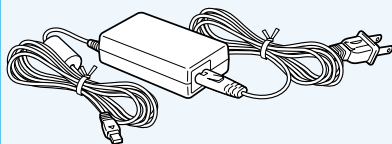
インターネット接続をするには

- インターネットに接続するための別売り品（下記のいずれかの組み合わせ）が必要です。
  - モバイルコミュニケーションアダプターと接続ケーブル、携帯電話またはPHS
  - 通信アダプターと通信用CFカードなど
  - BluetoothモジュールとBluetooth対応携帯電話など
- 本冊子の準備をした後、CLIE本体の設定が必要です。詳しくは、「付属アプリケーションのご案内」をご覧ください。

1 箱の中身を確認する

まずはじめに、付属品を確認しましょう。

● 本体（1台）

イラストはPEG-NR70V/J

● クレードル（1台）

● ACアダプター（1台）

● ヘッドホン（1台）

● オーディオリモコン（1台）

● スタイラス（1本）*

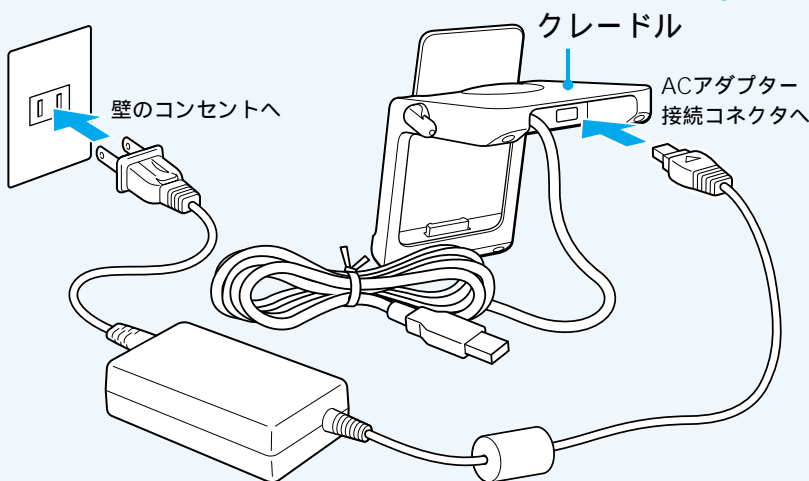
*工場出荷時に本体に取りつけてあります。

● 説明書およびCD-ROM

- ● インストールCD-ROM（1枚）
- ● はじめにお読みください（1冊、本書）
- ● 取扱説明書（1冊）
- ● 付属アプリケーションのご案内（1冊）
- ● 困ったときは Q&A／CLIE用語集（1冊）
- ● カスタマー登録のご案内（1枚）
- ● カスタマー登録はがき（保証書）
- ● Graffiti（グラフィティ）シール（1枚）
- ● ソフトウエア使用許諾書（1枚）
- ● クリエサービスサポートのご案内（1枚）
- ● クリエカルテ（1部）
- ● その他印刷物一式

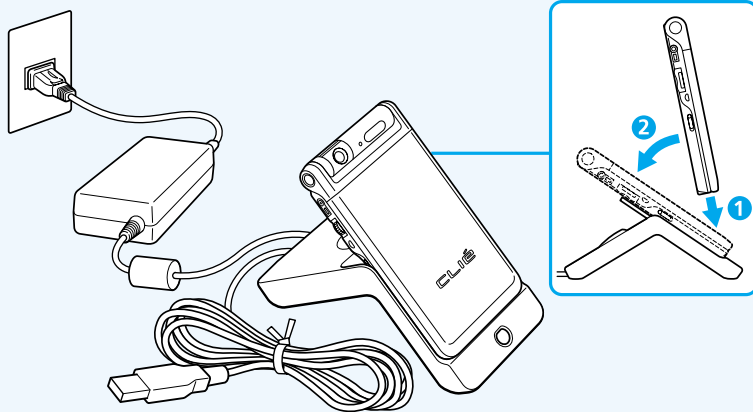
2 まず充電する

CLIEを使う前に、必ず充電してください。

つなぐ

充電について

- 毎日こまめに充電すれば、充電は短時間で終了します。
- 付属のクレードルをAC電源につないでおくと、
  本機をクレードルに置くだけで充電が始まります。

詳しくはCLIE本体取扱説明書をご覧ください。

取り付ける

本体のランプが点灯して、充電が始まります。
初回の充電は約4時間で終了します。

- 充電が終了すると本体のランプは消灯します。
- 約1時間もすれば、この冊子に説明している準備をするだけの充電は終了します。

充電をしているうちに、これからの準備の手順を確認しておきましょう。

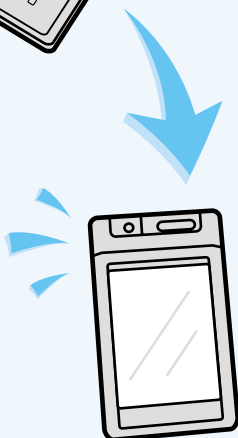
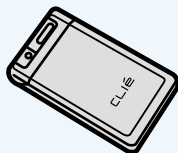
充電が終わったら、以下の手順で、準備を行ってください。

4 CLIE本体を準備する

CLIEで住所や予定などの個人情報を管理するには、この準備が必要です。

ディスプレイパネルを開く

12～13ページ

ディスプレイパネルを開いて、CLIEを使える状態にします。

電源を入れる

14～19ページ

電源を入れて、CLIE本体を使うのに必要な設定を行います。

文字入力をする

20～27ページ

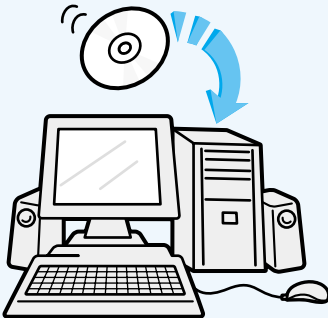
CLIEには様々な文字入力方法があります。ここではまず、基本的な文字入力のしかたを説明します。

5 パソコンと一緒に使えるようにする

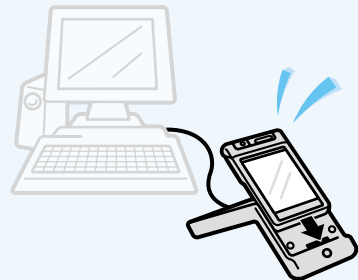
**CLIEをパソコンと連携して使ったり、
インターネット接続をするためには、この準備も必要です。**

ソフトを インストールする

28〜31ページ

お使いのパソコンに
CLIE Palm Desktopソフトウエアを
インストールします。

パソコンと つなぐ

32〜33ページ

クレードルをつなげてCLIEと
パソコンを一緒に使うための
準備をしましょう。

4 CLIE本体を準備する

ディスプレイパネルを開く

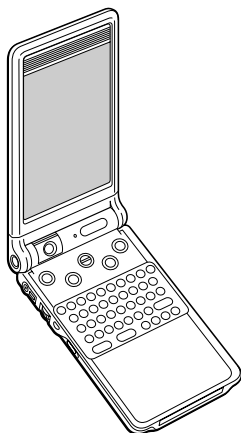
ディスプレイパネルを開いて、CLIEを使える状態にします。

本機は、次の2つの「スタイル」で使用します。

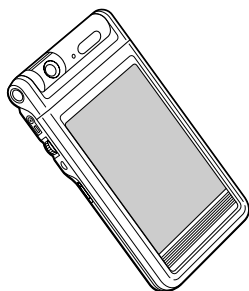
オープンスタイル

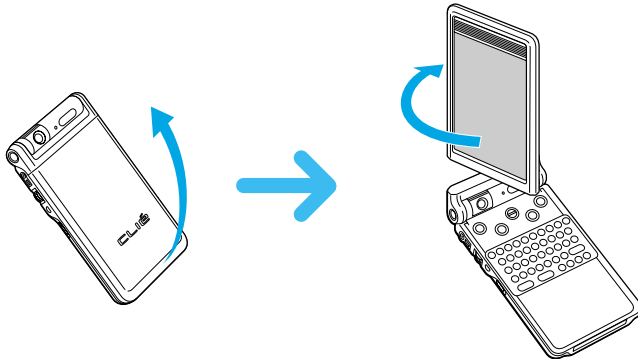
主にハードウェアキーボードで文字入力するときにこのスタイルにします。

ハードウェアキーボードを搭載した本機ならではのスタイルです。

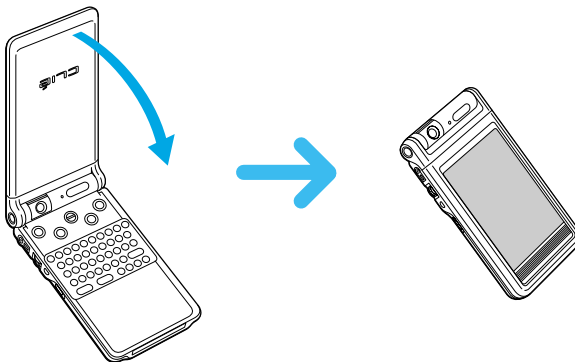
ハードウェアキーボードは、パソコンのキーボードと同じように、指で押して使用します。さらに詳しい説明は、「取扱説明書」をご覧ください。

ターンスタイル

Palm OS搭載機の標準的なスタイルです。

本書では、ターンスタイルでの使いかたで説明します。

ターンスタイルにする

ディスプレイパネルを開き、時計回りに回転させる。

ご注意

- 回転の途中でディスプレイパネルを閉じると本体を傷つけることがあります。必ず回転させ終わってから手順2に進んでください。
- メモリースティックスロットにGPSモジュールやカメラモジュールを挿入している場合は、ディスプレイパネルを回転させるときに、モジュールに当たらないようにご注意ください。

CLIEロゴがある面を正面にし、ディスプレイパネルを閉じる。

これで画面を見ることができるようになりました。

4 CLIE本体を準備する

電源を入れて初期設定をする

CLIEの電源を入れて、操作をする前に必要な初期設定を行います。
初期設定を行いながら、CLIEの操作に慣れていきましょう。

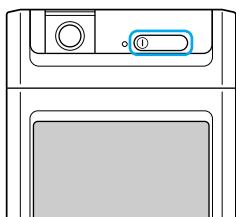
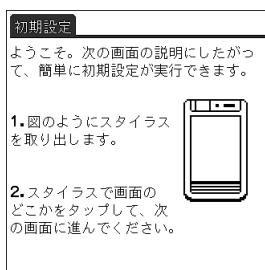
1 電源ボタンを押す。

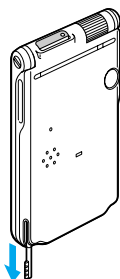
電源が入り、「初期設定」画面が表示されます。

初期設定

ようこそ。次の画面の説明にしたがって、簡単に初期設定が実行できます。

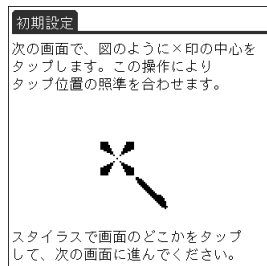
1. 図のようにスタイラスを取り出します。

2. スタイラスで画面のどこかをタップして、次の画面に進んでください。

スタイラスを取り出す。

文字を入力したり実行したいアプリケーションを指定したりするために、付属の**スタイラス**を使います。

ご注意

- 付属のスタイラス以外のものを使うと、CLIEの画面を傷つけてしまうことがあります。
- スタイラスを取り付けるときは、カチッというまでしっかり差し込んでください。

スタイラスで画面を軽く押す。

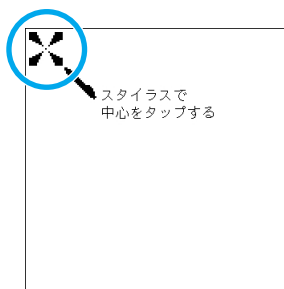
この操作を**タップする**といいます。
タップした場所と画面表示のずれを補正するための、設定画面が表示されます。

画面の指示にしたがって、表示されたマークの中心をタップする。

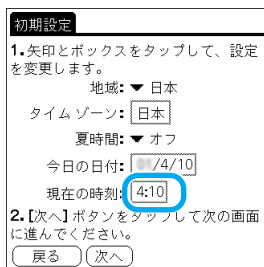
引き続いて、画面の右下と画面の中央の調整も行います。

ご注意

正確に調整しないと、うまく操作できない原因となります。あとから調整をやり直したいときは、CLIE本体取扱説明書の「デジタイザの設定を変更する」をご覧ください。

調整が終わると、日時の設定画面が表示されます。

次のページにつづく

[現在の時刻］の枠で囲まれている部分をタップする。

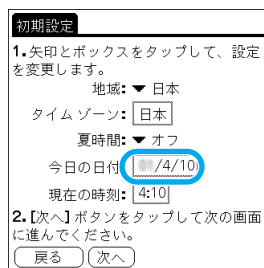
「時刻の設定」画面が表示されます。

6 ▲ または ▼ をタップして、時間表示を現在の時間に合わせる。

7 分表示をタップして、同様に分表示を現在の時間に合わせる。

8 [OK] をタップする。

時計が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

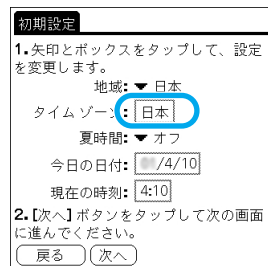
9 [今日の日付］の枠で囲まれている部分をタップする。

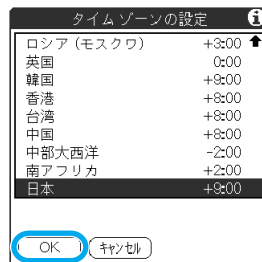
「日付の設定」画面が表示されます。

一番上の西暦の横の◀または▶をタップして、西暦を合わせる。

11 現在の月をタップしてから、現在の日付をタップする。

日付が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

12 [タイム ゾーン] の枠で囲まれている部分をタップする。

「タイム ゾーンの設定」画面が表示されます。

13 地域名をタップしてタイム ゾーンを選び、[OK] をタップする。

次のページにつづく

[夏時間] の横の ▼ をタップして、[オン] または [オフ] を選ぶ。

[次へ] をタップする。

[次へ] をタップする。

「データの入力」画面が表示されます。

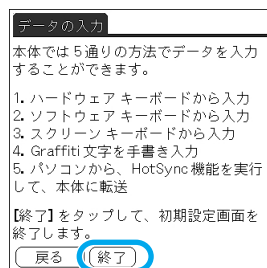
[終了] をタップする。

データの入力

本体では5通りの方法でデータを入力することができます。

1. ハードウェア キーボードから入力
2. ソフトウェア キーボードから入力
3. スクリーン キーボードから入力
4. Graffiti 文字を手書き入力
5. パソコンから、HotSync 機能を実行して、本体に転送

[終了] をタップして、初期設定画面を終了します。

戻る　終了

初期設定が終了し、ホーム画面が表示されます。

これで初期設定が終わり、CLIEを使えるようになりました。

文字入力を練習する

本機には、以下の5種類の文字入力の方法があります。

Palm OS搭載機として標準的な方法

- 画面上にキーボード(スクリーンキーボード)を表示し、スタイラスでタップして入力する
- 手書き入力文字(Graffiti)を入力エリアに書いて入力する
- パソコン上のソフトウェアで入力してからHotSyncする

本機ならではの便利な方法

- ハードウェアキーボードを指で押して入力する
- 画面下部にソフトウェアキーボードを表示し、スタイラスでタップして入力する

ここでは、もっとも基本的な「画面上にキーボードを表示し、スタイラスでタップして入力する」方法を、例文を入力しながら練習してみましょう。その他の方法については、「取扱説明書」をご覧ください。

また、本機には変換効率の高い日本語変換システム「ATOK」が搭載されています。日本語変換の方法としてATOKを使用する場合は、「取扱説明書」をご覧ください。

文字入力の準備をする

文字を入力するためには、CLIEで動作する何らかのソフトウェア(アプリケーション)を利用する必要があります。ここでは「メモ帳」を使って、文字入力の練習をしてみます。

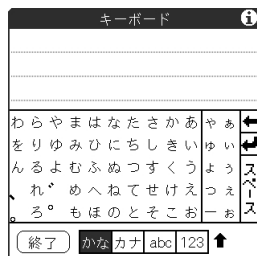
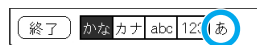
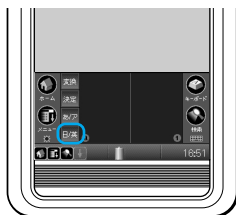
ホーム画面の[メモ帳]アイコンタップする。

「メモ帳」が起動します。

[新規] をタップする。

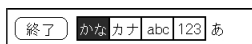
新規メモが作成され、文字が入力できる状態になります。

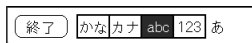
をタップする。

キーボードが表示されます。

日/英 をタップして、日本語入力モードを「入」にする。

入力のしかたを選ぶ

日本語を入力する方法として、かな入力方式とローマ字入力方式があります。お好みにあわせて、入力方法を選んでください。以後の説明では、かな入力で入力した場合の操作について説明します。

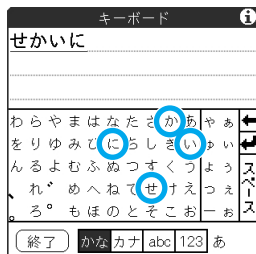
かな入力

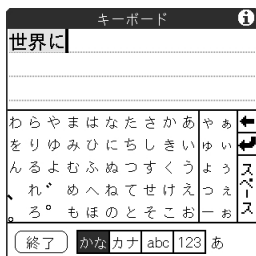
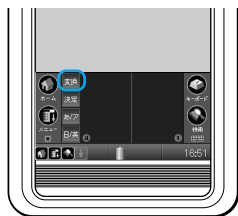
各キーに表示されているひらがなで入力します。[かな] をタップすると、ひらがなのキーボードが表示されます。

ローマ字入力

アルファベットを組み合わせて、ローマ字で日本語を入力します。[abc] をタップすると、アルファベットのキーボードが表示されます。

漢字の部分を入力する（「世界に」）

1 「世界に」の読みを入力する。

せ、か、い、に、の順に画面上の文字をタップします。

タップするごとに、カーソル（点滅している「｜」）が入力位置に動きます。

2 をタップする。

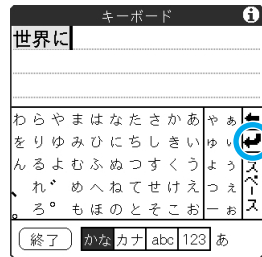
入力した読みに当てはまる漢字が表示されます。

間違った漢字が表示されたときは

もう1度 変換 をタップします。
漢字変換候補画面が表示されたら、目的の漢字をタップしてください。

決定またはキーボードの (Enter) をタップする。

変換が確定します。

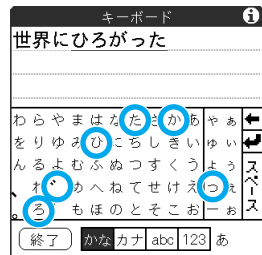
文字を間違って入力したときは

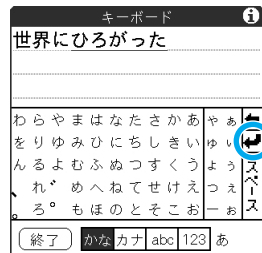
(Back Space) をタップすると、直前の文字を消去できます。

ひらがなの部分を入力する（「ひろがった」）

「ひろがった」の読みを入力する。

ひ、ろ、か、゛（濁点）、っ（小文字）、た、の順に画面上の文字をタップします。
タップするごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

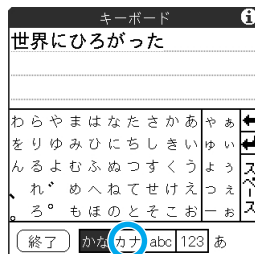
ちょっと一言

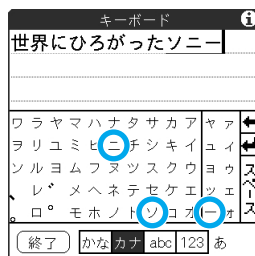
ローマ字入力で小さい「っ」を入力するときは、「かった」のように次の文字が「た」であればTを2回タップします。

決定またはキーボードの (Enter) をタップする。

変換する必要がないので、変換 をタップする必要はありません。

カタカナの部分を入力する（「ソニー」）

1

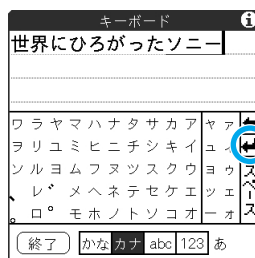
[カナ] をタップする。

カタカナのキーボードが表示されます。

ソ、ニ、ー、の順に画面上の文字をタップする。

タップするごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

決定 またはキーボードの (Enter（エンター）) をタップする。

変換が確定します。

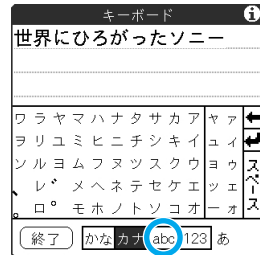
ちょっと一言

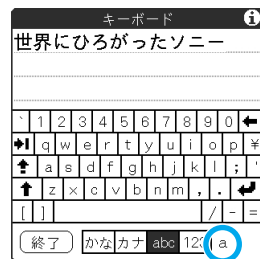
ひらがなで「そにー」と入力してから あ/ア をタップして、カタカナに変換することもできます。

ローマ字入力でカタカナを入力するときは

カタカナにしたい文字列を入力したあとに、 あ/ア をタップします。
入力した文字列がカタカナに変換されます。

英字の部分を入力する（「CLIE」）

キーボードの［abc］をタップする。

ローマ字のキーボードが表示されます。

日/英 をタップして、日本語入力モードを「切」にする。

日本語入力モードが「切」のときは、画面右下に「a」と表示されます。

⇧（キャップス Caps）をタップしてから、Cをタップする。

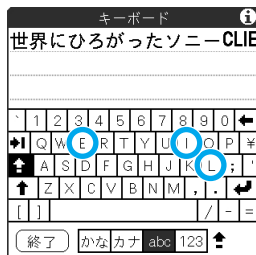
大文字でCと入力されます。

次のページにつづく

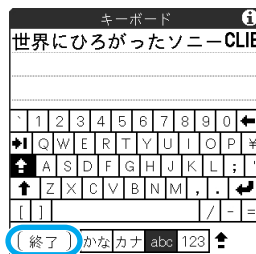
L、I、Eの順に画面上の文字をタップする。

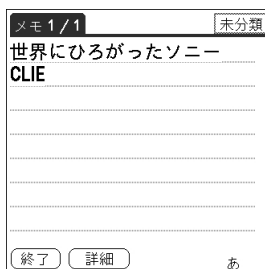
日本語入力モードが「切」になっているため、変換したり確定したりする必要はありません。

小文字を入力したいときは

もう一度 をタップします。

入力を確定する

文字の入力がすべて終わったら、[終了] をタップする。

画面からキーボードが消え、「メモ帳」の画面が表示されます。

「世界にひろがったソニーCLIE」と入力できました。

キーボード上にない文字や記号の入力のしかたや、漢字に変換する文節の位置の調節のしかたなど、文字の入力のしかたについて詳しくは、CLIE本体取扱説明書の「文字を入力する」をご覧ください。

これでCLIEに文字が入力できるようになりました。CLIEをパソコンと組み合わせてお使いになる方は、次ページからの「パソコンと一緒に使えるようにする」をご覧ください。

5 パソコンと一緒に使えるようにする

ソフトウェアをパソコンにインストールする

お使いのパソコンに、付属CD-ROMに入っている「CLIE Palm Desktop」というソフトウェアをインストールします。CLIEとパソコンでデータをやり取りしたり、住所録などの情報をパソコンの画面で入力するためのソフトウェアです。

お持ちのパソコンのシステム構成を確認する

CLIE Palm Desktopソフトウェアおよび、付属のCD-ROMに収録されているソフトウェアを使うには、以下のシステムのパソコンが必要です。

- **OS**：Microsoft® Windows 98 Second Edition、Windows Millennium Edition、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional
- **CPU**：MMX Pentiumプロセッサ 233 MHz以上（Pentium II 400 MHz以上推奨）
- **RAM**：64MB以上（Windows XPの場合は128MB以上推奨）
- **ハードディスクドライブ**：150MB以上の空き容量（350MB以上推奨）
- **ディスプレイ**：High Color以上、800×600ピクセル以上を推奨
- CD-ROMドライブ
- USB端子
- マウスやトラックパッドなどのポインティングデバイス

ご注意

Windows 2000 ProfessionalまたはWindows XPをお使いの場合、管理者アカウントでログオンしてからインストールを行ってください。

CLIE Palm Desktopソフトウェアをインストールする

ご注意

- インストールする前に付属のクレードルをパソコンにつながないでください。正しくインストールできない場合があります。
- パソコン上で付属CD-ROMの内容を開いて、CLIE Palm Desktopフォルダをパソコンにコピーしないでください。必ず以下の手順に従って、インストールしてください。
- すでにCLIEをお使いの場合、すでにお使いのCLIE Palm Desktopを削除（アンインストール）せずに以下の手順で新しいPalm Desktopを上書きしてください。詳しくは、別冊の本体取扱説明書の「他のCLIEのデータを移す」をご覧ください。
- 本機に付属のCLIE Palm Desktopには、「支払メモ」がありません。

1 Windows上で起動している、すべてのソフトウェアを終了する。

2 パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMをセットする。

しばらくすると、パソコンにインストール画面が表示されます。

3 [次へ] をクリックする。

「使い方」画面が表示されます。

4 [基本ソフトウエア] をクリックする。

5 「CLIE Palm Desktop」の [インストール] をクリックする。

CLIE Palm Desktopソフトウェアのインストールが始まります。
以後、画面の指示に従って操作してください。
インストールが完了すると、「セットアップの完了」画面が表示されます。

次のページにつづく

6 オンラインカスタマー登録をするときは、そのまま［完了］をクリックする。

「クリエオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。
オンラインカスタマー登録には、インターネットへの接続環境が必要です。

あとでカスタマー登録するときは

［カスタマー登録をする］の☑をクリックして☐にしてから、［完了］をクリックします。手順8に進んでください。

7 画面の指示に従って、カスタマー登録を行う。

カスタマー登録が終わったら、クリエオンラインカスタマー登録画面を閉じて、インストール画面に戻ります。

8 画面の指示に従って、動作確認を行う。

ここでは、パソコン上で動作するCLIE Palm Desktopソフトウェアと一緒に動作する、HotSyncマネージャというソフトウェアの動作確認を行います。
HotSyncの手順について詳しくは、「クレードルでパソコンとCLIEをつなげる」（32ページ）をご覧ください。

9 画面左下の［終了］をクリックする。

カスタマー登録って何？

ソニーへCLIEの正規ユーザーとして登録することです。
登録をすると、登録カスタマー専用の各種サービスなどが受けられます。
サービスの内容について詳しくは、CLIEのホームページ（http://www.sony.co.jp/CLIE/）をご覧ください。
また、CLIEに付属の保証書期間はお買い上げ日から3か月ですが、カスタマー登録をすると保証期間が1年間となります。保証について詳しくは、CLIE本体取扱説明書の「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

カスタマー登録は以下の方法でもできます

- 付属のカスタマー登録はがきを使う
- 本機に付属されている「Net設定」アプリケーション（詳しくは「付属アプリケーション一覧」をご覧ください）を使ってインターネットに接続したあと、あらためてCLIEでオンラインカスタマー登録を行う。

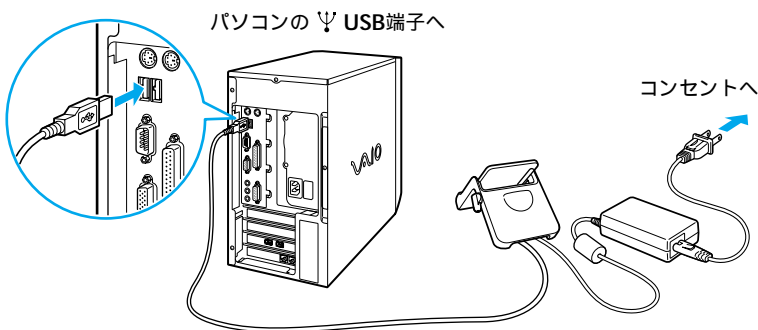
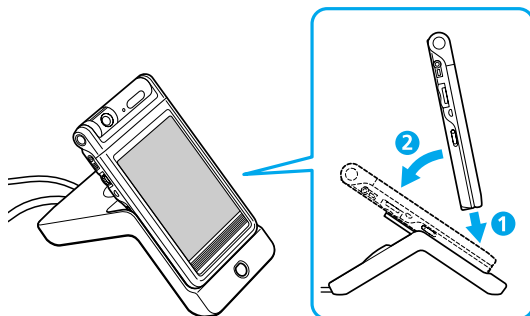
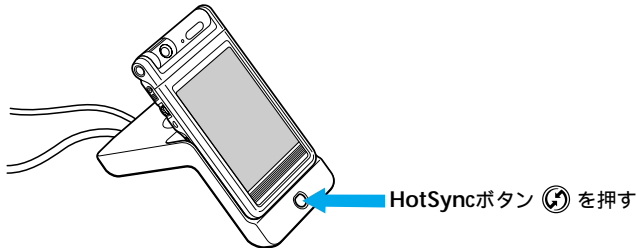
手順3でインストールの操作ができなくなったら

パソコンの［Alt］キーを押しながら［tab］キーを、何度か押してみてください。
手順3でインストールの操作中にパソコンの画面上の「インストールCD-ROM」画面などをクリックすると、「インストール」画面が「インストールCD-ROM」画面の背後に隠れてしまい、インストールの操作ができなくなることがあります。このときは上記の操作をすることで、「インストール」画面を再び前面に出すことができます。

これでパソコンへのCLIE Palm Desktopのインストールが終わりました。

クレードルでパソコンとCLIEをつなげる

CLIE Palm Desktopソフトウェアのインストールが終了したら、パソコンのUSB端子にクレードルを接続し、CLIEをパソコンと連携して使えるようにします。

クレードルをパソコンに接続する。

CLIEをクレードルに取り付ける。

クレードルのHotSync（ホットシンク）ボタン を押す。

必要なソフトウェアのインストールが自動的にはじまります。

パソコンに「ユーザー」画面が表示されたら、パソコンの画面で新規ユーザー名を入力する。

ユーザー名とは、CLIEの使用者名のことです。好みの名前を入力してください。

すでに別のCLIEをお使いの場合は

別のCLIEで使用しているユーザー名とは違うものを入力してください。同じユーザー名にすると、不具合が起こることがあります。

パソコンの画面で［OK］をクリックする。

CLIEから「ピロリ♪」と音がして、CLIEとパソコンがデータをやり取り（HotSync）します。

このとき、手順4で入力した使用者名がCLIEにも登録されます。

CLIEの画面に「HotSync機能が終了しました」と表示されると、接続完了です。

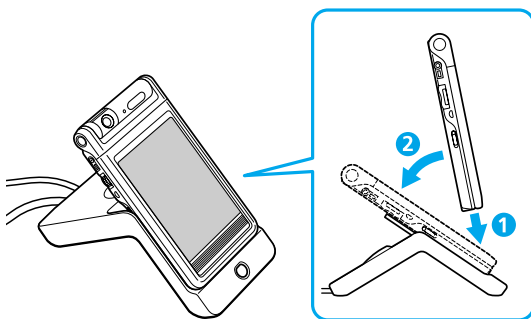
これで準備は終了です！

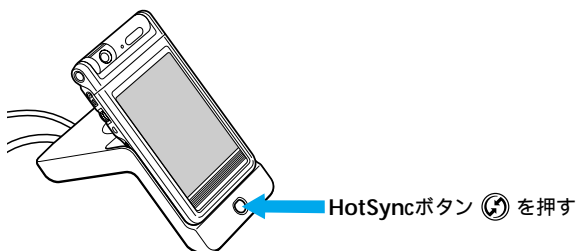
やってみよう

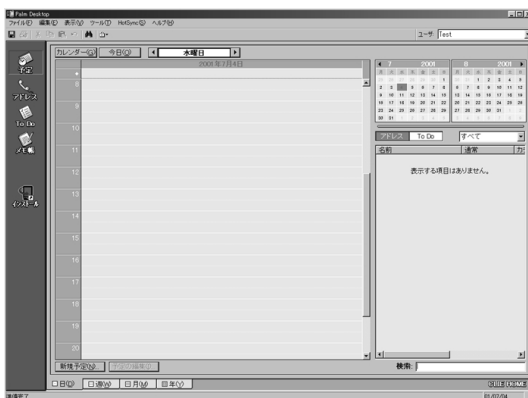
パソコンとCLIEを連携させて、文字入力の練習で入力したメモをパソコンで読んでみましょう。

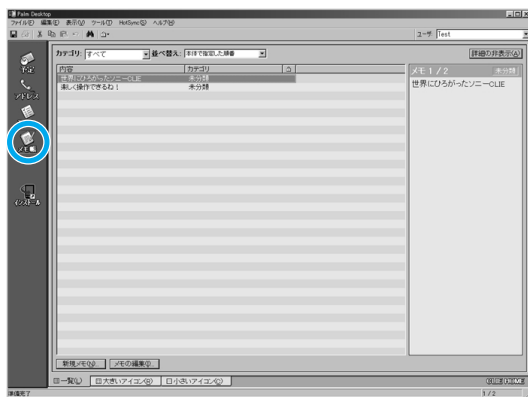
パソコンの電源を入れて、Windowsを起動する。

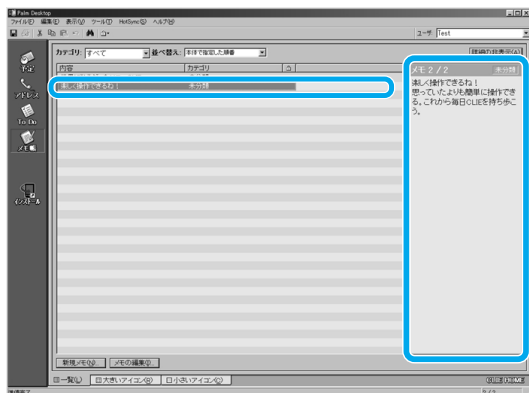
20～27ページの手順を参考にして、好きな文章を「メモ帳」に入力する。

CLIEをクレードルに取り付ける。

クレードルのHotSyncボタンを押す。

CLIEとパソコンでデータをやり取りします。

パソコンのデスクトップ画面で、［CLIE Palm Desktop］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］をクリックしてから［プログラム］（Windows XPの場合は［すべてのプログラム］）－［SonyCLIE］－［CLIE Palm Desktop］をクリックする。

CLIE Palm Desktopソフトウェアが起動します。

をクリックする。

メモの一覧が表示されます。

一覧画面で、手順2で作成したメモをクリックする。

メモ内容画面に、メモの内容が表示されます。

これで、CLIEでの情報入力からパソコンとの同期までの一連の操作が終わりました。

CLIEを使いこなしていくために

CLIEを自分にあった方法で使いこなすために、以下の説明をご覧ください。

CLIEの基本機能を使いこなす

Palm OS搭載機標準の個人情報管理アプリケーションの使いかたやパソコンとの連携、赤外線やメモリースティックを使用したデータの交換などは「取扱説明書」で説明しています。

個人情報を管理したい

本体取扱説明書
Chapter 3
「個人情報を管理する」

パソコンとの連携を極めたい

本体取扱説明書
Chapter 4
「パソコンとデータを同期する（HotSync）」

仲間と情報交換したい

本体取扱説明書
Chapter 5
「仲間と情報を交換する」

付属アプリケーションを使いこなす

本機にはCLIEの楽しみかたを広げるさまざなアプリケーションが付属しています。各アプリケーションのマニュアルは、CLIE Palm Desktopをインストールすると同時にパソコンにインストールされます（パソコンのデスクトップ上に（CLIEアプリケーションマニュアル）アイコンが表示されます）。各アプリケーションのマニュアルは、をダブルクリックすることで表示されます。

オーディオ／サウンドを楽しむ →
- Audio Playerマニュアル
- Sound Utilityマニュアル

静止画／動画を楽しむ →
- PictureGear Pocketマニュアル
- CLIE Camera*マニュアル
  ＊PEG-NR70V/Jのみで動作します。
- Photo Standマニュアル
- CLIE Paintマニュアル
- gMovieマニュアル

インターネットを楽しむ →
- ISP契約／Net設定マニュアル
- Xiinoマニュアル
- CLIE Mailマニュアル

CLIEの機能を拡張する →
- Navin' You Pocketマニュアル
- TVscapeマニュアル
- World Alarm Clockマニュアル
- CLIE Remote Commanderマニュアル

“メモリースティック”を活用する →
- Memory Stick Gateマニュアル
- Memory Stick Import／Memory Stick Exportマニュアル
- Memory Stick Autorunマニュアル
- Memory Stick Backupマニュアル

パソコンデータを活用する →
- Documents To Goマニュアル
- Intellisyncマニュアル**

**Intellisyncマニュアルは CLIEアプリケーションマニュアルには収録されていません。
詳しくは別冊の「付属アプリケーションのご案内」をご覧ください。

最新サポート情報は

下記のネットコミュニケーション カスタマーリンクのホームページをご覧ください。

● http://www.nccl.sony.co.jp/

付属の冊子もあわせてご覧ください。

「クリエ サービスサポートのご案内」
「困ったときは Q&A／CLIE用語集」

CLIEのさらに楽しい使いかたは

下記のホームページをご覧ください。

● http://www.sony.co.jp/CLIE/

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

使いかたのご相談、技術的なお問い合わせは

ネットコミュニケーション カスタマーリンクへ
● **0466-30-3080**

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは

ソニーカスタマー専用デスクへ
● **03-5977-7255**

お電話の前に、必ず付属の「クリエ サービスサポートのご案内」をご覧ください。

http://www.sony.co.jp/